

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸太田市立太田小学校

担当教諭名 大森 えり子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年2月23日(水) 9:40 ~ 13:00
対象学年と人数	第3学年 96名(3クラス)
派遣講師名と出身国	・ジェフリー・パーク(アメリカ) ・タスファイエ・ガライヤ(エチオピア) ・リュウ・シュウ(中国)
活動の内容	・母国語のあいさつ・自己紹介 ・アメリカ、エチオピア、中国の紹介(食べ物、歌、スポーツ、国旗、歴史、学校の生活、有名な場所など) ・質問タイム ・ふらあいタイム(ゲーム) ・講師の方々とのふれあいランチタイム
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 各国20分の時間を取ったが、20分では時間が足りなかった。しかし、3カ国全部体験するという点と、講師の先生が学校に着く時刻、帰る時刻を考えると20分程しか取れないのが現状であると思う。
生徒・保護者等参加者の感想	・いろいろな国のひみつが聞けてうれしかったです。エチオピアの先生は、エチオピアの洋服を着せてくれたり、たくさんの絵を見せてくれました。自分たちで絵の発表をしたりするのがすごく楽しかったです。エチオピアに行ってみたくなりました。 ・アメリカの先生は、サソリや写真などいろいろな物を持ってきてくれて分かりやすく説明してくれました。アメリカの漫画も見せてくれました。アメリカでも「ワンピース」や「ドラゴンボール」などがあるんだなと思ってビックリしました。 ・中国の先生は、パソコンを使って話をしてくれました。中国の景色がとても綺麗だったです。中国は、日本よりずっと大きく、たくさんの人が住んでいるということを知ってビックリしました。 ・先生と一緒に給食を食べたことがうれしかったです。日本語が上手でビックリしました。ぼくも、他の国の言葉が話せたら楽しいだろうなと思いました。今、英語を習っているのでもっと上手に話せるようにがんばろうと思いました。
先生の感想	事前に、来てくださる方の国について本やインターネットなどで調べていたこともあり、とても楽しみに待つことができました。今回は、アメリカ、エチオピア、中国の方を講師としてお招きしましたが、講師の方々の準備がとてもよく、児童は十分に異文化に触れることができ、触れ合うという目的は達成できたかと思います。今回は1回目ということで、主に講師の方から話を聞くという活動であったため、質問したいことを聞くことができなかったのは仕方がないかとも思いました。 時間配分については、ファシリテーターの方とFAXや電話で何度も打ち合わせをしましたが、講師の方も児童に伝えたいことがたくさんあり、時間が延びてしまったので、さらに余裕を持った時間配分を考えていきたいと思っています。

